

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 22-001

PDCA	事務事業名	社会体育振興事業	部課等名	健康子ども部 スポーツ課 振興担当	担当	瀧田	
					内線等	422	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 4. 生涯スポーツ・レクリエーション					
		単位施策： (1) 生涯スポーツの実現					
		個別施策： ①スポーツ大会・教室の開催					
根拠法令等	スポーツ基本法						
対象・目的	教室や大会などを開催するほか、半田市体育協会への活動支援、スポーツ推進委員会を中心とした地域のスポーツ振興などにより、第2次半田市スポーツ推進計画の目標値とする成人市民のスポーツ実施率65%を目指す。						
目的を達成するための手段・活動内容	・半田市体育大会、半田市民体育大会の開催 ・はんだシティマラソン大会の開催 ・各種教室・大会の開催 ・半田市体育協会への助成 ・スポーツ推進委員の活動						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①各種教室・ニュースポーツ普及事業等参加者	755	591	738	人	
		②半田市体育大会・半田市民体育大会参加者	19,311	16,570	16,981	人	
		③はんだシティ(半田市民)マラソン大会参加者	3,572	3,673	3,198	人	
		④「はんだスポーツの日」イベント参加者	884	418	650	人	
		⑤親子のスポーツ教室、研修会参加者	4,929	6,534	6,142	人	
		事業費	18,752	22,364	20,188	千円	
		人件費	16,046	19,098	19,264	千円	
		総事業費	34,798	41,462	39,452	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①社会体育振興事業に係る市民1人あたりの経費	292.0	347.0	329.0	円/人		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①スポーツ実施率(3年毎) ※週1回以上スポーツをする人の割合	実績値	56.33	47.43	47.43	%
目標値			65.0	65.0	65.0		
②各種教室・大会参加者数		実績値	29,451	27,786	27,709	人	
		目標値	33,200	33,200	33,200		
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	
		D					
	事業の評価・課題	半田市体育協会と連携した体育大会及び各施設で実施する教室を例年どおり開催することができた。また、総合型地域スポーツクラブが実施するスポーツ教室やスポーツ推進委員会を中心としたニュースポーツ教室を開催した。 しかし、はんだスポーツの日に開催するはんだシティマラソンについては、天候不良のため参加者が減少した。 継続的に集客・参加者を募ることができるスポーツイベントが必要である。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		半田市体育協会や総合型地域スポーツクラブ、そして半田市スポーツ推進委員連絡協議会と協力し、少しでも多くの人にスポーツに触れる機会を作る。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けての聖火リレー及び合宿地の誘致やホストタウン交流をきっかけにスポーツ人口の増加、成人市民のスポーツ実施率の回復に努めていく。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①スポーツ実施率(3年毎)※週1回以上スポーツをする人の割合	65.0	%			
		②各種教室・大会参加者数	33,200	人			